

事業所名

はれれあ

支援プログラム（参考様式）

作成日

7年

3月

10日

法人（事業所）理念		はれれあ（幸せな家、場所）を目指して ・利用される方のために…様々な思いを受け入れ共感し寄り添います。安心・信頼できる環境づくりに努めます。 ・地域のために…法令等を遵守し地域貢献に向けて努力します。 ・職員のために…安心して勤務できる体制づくり、常に向上していく環境を整えます。				
支援方針		一人一人の興味・関心・思いを受け入れ共感し寄り添っていく。遊びや集団生活を通して、多くの喜び、楽しい、嬉しいを共有し信頼関係を築き、人と繋がる力を身に付けてほしい。個々の持つ特性を理解し困りごと、生きにくさに気付き少しでも和らぐ支援をしていきたい。遊びを大切にしたい。遊びを通して多くのことを身に付け、子供の世界が広がっていくような支援を目指す。安心して過ごし自信が持てるよう、分かりやすく同じプログラムを繰り返す。				
営業時間		8時	30分	17時	0分	送迎実施の有無 あり <input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/>
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	同じプログラムを繰り返す事で安心して過ごせるように、又、個々に合わせた支援を行い自立・自信を持てるようにします。衣服の着脱、排泄、食事、持ち物を決まった場所に片付ける等出来るところから少しずつ取り組み自分で出来ることを増やしていきます。絵カード等を使い1日の活動の内容を確認し生活の流れを知り安心して過ごせるようにします。				
	運動・感覚	全身運動（肘、膝の曲げ伸ばし）を通し体幹を鍛え姿勢維持、ボディイメージにつなげます。いろいろな感覚、感触の物に触れ遊びながら楽しみます。散歩、体操、リトミック、サーキット遊び等で全身を使い日常動作をスムーズに行ったり筋力やバランス感覚を養います。水遊び、製作、クッキング、楽器遊び等を通して五感を刺激していろいろな物に興味を持ち想像力や集中力を養います。				
	認知・行動	一日のプログラム、物の整頓場所、行動の手順（手洗い、外出の準備等）、時計の数字にイラスト等絵カードで表示し言葉だけでなく目で見て分かるようにします。数、形、色、文字等を意識したゲームや遊び等を通して理解して行動できるようにします。個々の課題に添ったプログラムを用意し楽しみながら取り組めるようにします。				
	言語コミュニケーション	人と話す楽しさを知り話す力、聞く力を伸ばします。歌、絵本、自己紹介、伝言ゲーム等いろいろな言葉に触れる中で言葉を覚え使える語彙を増やしていきます。絵本、絵本、朝・帰りの会、1対1から一斉指示を織り交ぜながら指示理解につなげていきます。				
	人間関係社会性	集団生活の中で人と関わりながら安心して過ごせるようにしていきます。また、集団生活を送る中でルールを知り守っていけるようにします。一人一人の思いに思いに寄り添い関係を深め人と繋がる、関わる楽しさの経験を積み重ねいきます。順番を守ったり、物の貸し借りのやり取りを通して集団生活のルールを身に着けます。ルールのある遊びを楽しみます。（鬼ごっこ、すごろく、椅子取りゲーム等）				
家族支援		送迎時や連絡ノートを通して家庭の様子、事業所での様子を共有し保護者が様々な相談事を話しやすいように関係性を深めていきます。参観会や保護者会等今後取り入れていく予定です。			移行支援	必要に応じて保育園やこども園を訪問し、現状の様子や具体的な支援方法を共有し連携しています。年長児へかけはしシートを通し小学校との連携を行います。
地域支援・地域連携		郵便局での買い物 近隣公園での地域の方との交流 福祉避難所や小学校への避難訓練			職員の質の向上	事業所内や外部での研修や事例検討会に参加 参考文献の購入 専門職を招いての勉強会
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・春：お花見 ・夏：プール遊び ・クリスマスや豆まき等の季節行事 ・お誕生日会 ・製作や課題に季節を感じられる物を取り入れる ・クッキング 				